

1. 議事日程（第12日目）

日程第 1 一般質問

1. 北垣 潮君
 - (1) 保安林改良事業について
 - (2) 水俣病問題について
 - (3) 認知症対策について
 - (4) 龍ヶ岳地区小中学校の統合について
2. 西本 輝幸君
 - (1) 観光について
 - (2) 雇用対策について
3. 川口 望君
 - (1) 家裏がけ崩れ見舞金について
 - (2) 子宮頸がん予防接種について
 - (3) 入札について（大矢野中学校管理棟耐震補強）

2. 本日の出席議員は次のとおりである。（21名）

議長 堀江 隆臣		
1 番 平田 晶子	2 番 何川 雅彦	3 番 田中 辰夫
4 番 須崎 光枝	5 番 宮下 昌子	6 番 西本 輝幸
7 番 高橋 健	8 番 小西 涼司	9 番 島田 光久
10 番 川口 望	11 番 田中 万里	13 番 北垣 潮
14 番 園田 一博	15 番 窪田 進市	16 番 津留 和子
17 番 桑原 千知	18 番 渡辺 勝也	19 番 田中 勝毅
20 番 猪塚 安親	21 番 新宅 靖司	

3. 本日の欠席議員は次のとおりである。（1名）

12 番 山口 安彦

4. 会議事件説明のため出席した者の職・氏名

市 長	川端 祐樹	教 育 長	鬼塚 宗徳
総務企画部長	永森 良一	市民生活部長	佐伯 秀昭
建設部長	尾上 徳廣	経済振興部長	坂中 孝臣
教育部長	村枝 誠二	健康福祉部長	杉田 省吾
会計管理者	杉田 良一	上天草総合病院事務長	松本 精史
水道局長	松本 和任	総務課長	橋本 秀雄
財政課長	竹下 学		

5. 職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	森内 孝生	局長 補 佐	野崎 秀満
参 事	川端 彰		

開議 午前10時00分

○議長（堀江 隆臣君） おはようございます。

これより会議を開きます。

議事日程はお手元に配付してあるとおりでございます。

本日は、一般質問最終日でございます。

日程第1 一般質問

○議長（堀江 隆臣君） 日程第1、一般質問。

一般質問の通告がっておりますので、順次発言を許します。

13番、北垣 潮君。

○13番（北垣 潮君） 改めまして、おはようございます。13番、民主党、北垣潮です。

1番目に、保安林改良事業について質問します。

この問題については昨年11月、天草市の登山愛好家で天草パークボランティアの方から、上天草は大変なことをしている、絶滅危惧種のアマクサミツバツツジを切ってしまうとの電話がありました。現場を見に行こうとは思っていましたが雨の後で、途中まで登ってやめました。

その前の日に、上天草市のほうから森林組合に状況を確認しましたところ、本事業地域には上島、アマクサミツバツツジがあるため、注意を払っての伐採を行なったとの回答でありました。

ただ、注意を払って伐採を行なったとのことですが、全くアマクサミツバツツジを無視した伐

採だけはしていませんとの回答でもありましたという文書を執行部のほうからいただきました。市も、森林組合もうそはつかないだろうと思ひ、この問題から遠ざかっていましたが、5月10日ごろ、天草の自然を守るため一番に頑張っている別の友人のところに遊びに行ったとき、あんたはあそこの山に登ったか、見に行ったのかと怒りを抑えての言葉が出てきました。

早速私も登ってみて、びっくりしました。アマクサミツバツツジを無視した伐採だけはしていませんは全くのうそ、でたらめで、切り開いた山には1本か2本確認しただけですが、このアマクサミツバツツジは木を切ると腐ってしまうそうです。新しい芽が出ないそうです。隣合わせに山の木を切っていないところには何本も、大きなアマクサミツバツツジがありました。やせ地のこの土地でここまで大きくなるには、相当の年数がかかったんだと思います。山のふもとの人の話では、自分たちが小さいころからこの山は切っていないから、60年以上は切っていないとのことでした。70歳ぐらいの人でした。そして、ここの山の木はまさ土だから、なかなか木が大きくなれないとの話もされました。

そこで、質問を幾つかします。次郎丸登山口のこの事業主体は。それから、市との事前打ち合わせはどのようにあったのでしょうか。また、どういうことで了解、対応されたのか。市も森林組合に委託されたということも聞いていますが、どの部分でしょうか。事業費は幾らで、どこから出ているのか、ここまで一括して答弁をお願いします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） お答えします。

次郎丸獄の登山口の、この事業主体は熊本県の林務課でございます。市との事業打ち合わせは、本事業は単年度要望でございますして、平成20年7月に市から県へ要望書を提出しております。

また、どういうことで了解、対応されたのかとの質問でございますけれども、これは先ほど申し上げましたとおり、本事業は単年度要望でございますして、平成20年7月に市から県へ要望をいたしまして実施したものでございます。

市も森林組合に委託されたということも聞いていますがどの部分かということでございますが、本事業とは別でございます。商工観光課におきまして次郎丸の登山道、後山から次郎丸、白嶽の草刈りを委託しております。

事業費は幾らであるかということでございますが、事業費は約1,800万円で、熊本県から支出されております。すべて県の予算で賄われております。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 草刈り事業を森林組合に委託されたということですが、事業が終わった後は見に行かれましたか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 私は、確認はしておりません。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 私も見に行ったんですけれども、確かにいろいろ切っておりますけれども、木を切って、もう全然登れないような状況であります。本当は、登山道を整備するのであれば、人が歩けるようにするのが本当だと思いますけれども、木を横倒しにして、もう全然歩けないような状態であります。この辺は、森林組合のほうにきちんと注意してほしいと思います。

また、事業費は県から出ているということではありますが、県の林務課のほうに聞いたところ、国から半分出ているということでありました。

また、単年度事業ということで、私も林務課のほうから説明を受けましたけれども、私の友人のKKTのカメラマンが聞いたところ、ことしもやるということでありました。この事業目的についてお聞きします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） この事業目的につきましては、本施工地は広域的な機能の発揮が期待されている保安林でございます。もろい地質と病害虫によります、マツクイムシによって松が枯れております。裸地化しております。このままの状態を放置すると、表土の流出や土砂災害の発生や水源涵養機能の低下が懸念されます。

そこで改植を行い、森林を造成することにより森林機能を維持、増進することを図ることが目的でございます。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 確かに、その目的はわかります。しかし、この山を切ったために、土砂流出防備保安林という、この機能は全然果たしていないわけでありまして。今まで何年もかかって大きくなった木を切って、重機を入れて道をつくり、そこに新たに木を植えておられますけれども、本当にこれ無駄な事業だと思います。

また、水源涵養機能の低下が懸念される、そこで改植を行い、森林を造成することにより保安林機能の維持、増加促進を図るということでありましたけれども、木を切ったために水源涵養機能は全然果たしていない、今までしていたのが果たせなくなってしまっている状態であります。

例えば、だれに例えればいいかわかりませんが、頭のはげた人に水をかけたら、どっと水が落ちてきます。髪の毛の長い人に水をかけても、水はたまりません。そういうことと同じであります。木を切ったために、水は流れてしまいます。何年で効果が出るのかということをお聞きします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 何年で効果が出るのかということですが、何年でというようなことは現在のところはわかりませんが、事業を行うことによりまして、植林した木を中心にほかの種類も生息しておりますので、徐々に保安林の機能が高まっていくものと考えます。当地は、森林を形成した松のほとんどがマツクイムシの被害で枯れている場所で

ございますので、マツクイムシの被害に強い、抵抗性のあるアカマツと3種類の広葉樹を植林しております。3種類の広葉樹といたしましてはイチイガシ、タブノキ、ヤマモモ等でございます。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 今まで、木が生えてその土地を、岩肌を根張りで押さえていたものが、木を切ったために2、3年で根っこが腐れてしまいます。そういうことで、土砂流出もこれから先ひどくなると思いますし、昨年12月にも、何トンも大きな岩が落ちてきたということで、この下に家のある人は心配をされておりました。

それから、このアマクサミツバツツジについてはどのような認識を持っておられるのか、お聞きします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） アマクサミツバツツジは希少植物でございまして、上天草市のみで生息する固有種でございます。環境省や熊本県のレッドリスト2009では第3番目の絶滅危惧IA類、275種類ありますけれども、その1種類と位置づけられております。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 本当に貴重な植物でありまして、地元の人たちも、この花が咲くと春が来たという感じがすると言っておられました。アマクサミツバツツジは旧松島町の町の木といえますか町の花でもありました。上天草市は桜が町の木ということでありますけれども、本当にどこにもない、こういう木を町の木にしたらよかったですのではないかなと私は思います。このアマクサミツバツツジを切ってしまったということについて、どういう見解をお持ちでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 伐採行為自体はよくないと思います。これにつきまして、前学園大学の教授をされておられて、現在退職されました佐藤先生のほうにお尋ねをしてみました。現地には切り株が残っております。私も確認に行きました。

それでお聞きしましたところ、来春は芽吹きますので、心配は要らないのではないかなというようにも聞きました。また、その作業によりまして日当たりがよくなるため、木自体は活性化するのではないかな。しかし、伐採行為自体はよくありませんというようなお答えをいただきました。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 地元の愛好者の方は、もう芽は出てこないという言葉でありました。私もよく見たんですけれども、去年切った木が全然芽吹いていないんですね。この写真の、こ

の岩にある株とか、ほかの株ですね。ほかの木は芽吹いて、アマクサミツバツツジでないところは芽吹いておりました。ここはビャクダンの木とかいっぱい生えていて、もうしなくてもいいような事業ではなかったのかなと思います。

それから、重機を入れて山を削ったというこの行為に対しては、部長はどういうふうに思われますか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） やはり、現代の事業でございますので重機は必要かと思えますけれども、本当を言いますと、ああいう地形に対して、雑木等も芽吹きにくい現状であるならば、人的な伐採が必要ではなかったのかと私は感じております。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） それに、地元の地権者に黙って重機を入れて、山の尾根伝いに道をつくっているという、そういう事実もあります。これについてどう思われますか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） その件については、私も現場に行きまして、そのとき森林組合の職員の方からお聞きしましたがけれども、やはり最初に、事業に入る前は森林組合も私たちも、事業元が私たちでございますので、そこは確認して了解を得るべきだったと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） それに、地元での説明会というのも全然なかったというふうに聞いておりますけれども、その辺についてはどういう見解でしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） その件については、事業説明会の件については、私も認識がございませんけれども、してはいいと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 私の地元高戸地区では今度トンネルを掘られるということで、業者の方が一軒一軒、ここまでするのかというふうに、選挙運動みたいに丁寧にあいさつ回りをされたと聞いております。

お聞きします。部長は、現場を見て回られたんですね。雨は、まだまだ続きます。地割れしているところとかにビニールシートを張るとか、そういう対応も必要かと思いますが、地元の人も不安がっておられます。県のほうに連絡すべきだと思いますが、どのようにお考えでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） その件については、地域の住民の皆さんが不安がっておられるというようなことをお聞きしましたので、その対応はしたいと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 国も県も金がないんだから、こういう事業はすべきではないと私は思います。今まで、やせ地に何年もかかって成長した木を切るなんて、常識では考えられない

という専門家の意見もありました。

余談にもなりますが、姫戸町白嶽にある県の天然記念物ヒモヅルもたくさん切り倒されています。これは御存じでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 私のほうは、話は聞いておりますけれども、現地の確認はしておりません。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 本当にもう少し勉強してほしいというか、自然を守るために、この上天草の財産というのは自然だと私は思うんですね。やはり、市の職員の人たちも率先してそういうものに、貴重なものだとすることを勉強してほしいと思います。

次に、水俣病保健手帳申請についてお伺いします。ひとり暮らしの年寄りの方が多く住んでおられ、その人たちは保健手帳の申請の仕方がわからない人がいっぱいおられます。その人たちを救済するための対策は、何か考えておられますか。

○議長（堀江 隆臣君） 市民生活部長。

○市民生活部長（佐伯 秀昭君） ただいまの質問につきましてでございますけれども、水俣病被害者の救済に関しましては、昨年7月に救済、それから問題解決に伴います法が制定されまして、その後ことしの4月16日に、その対策に向けての方針が閣議決定なされました。そのことに伴いまして、熊本県のほうでことしの5月1日から救済措置に入るということでございました。

そういう中で、当市のほうにおきましても5月13日、14日、二日間、龍ヶ岳町の4会場で説明会がなされたところでございます。参加された方は、4会場で820名だったと記憶いたしております。

そういう申請者に対して、お年寄りの方にどうするのかということでございますが、申請につきましても、混雑を避けるためにということで、龍ヶ岳統括支所のほうに1名の方を、県のほうにお願いいたしまして配置させていただいておりますけれども、お年寄りの方につきましては、まず本人申請が基本でございまして、家族の方ないし、家族の方が近くにいらっしゃらないとすれば区長さんとか民生委員さん方のお力をかりて申請される方法もあるのではないかとおもうことでございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 民生委員、区長さんに声かけをしてもらうということで、市のほうでもその方向で進めてもらえますか。

○議長（堀江 隆臣君） 市民生活部長。

○市民生活部長（佐伯 秀昭君） 市のほうから直接民生委員の方に依頼するというのではなくて、御本人さんがそういう、どうしても申請に出向くことができないとか、そういう状況が私たちのほうでも掌握しにくうございますので、地元の区長さんとか、あるいは民生委員さん

方の力をかりて、本人申請でございますので申請をなされるということは可能かと思うところでございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） でも、地元の区長さんとか民生委員さんにそういう気がなかったなら、これはできないということになりますね。何とか、その人たちも助けるような仕組みを考えてもらいたいと思います。環境大臣もすべての人を、疑いのある人を救わなければならないということも言うておられますので、何とか市のほうも、県にわかったらまずいんですかね。

○議長（堀江 隆臣君） 市民生活部長。

○市民生活部長（佐伯 秀昭君） いえ、まずいとかではなくて、申請されるのは、先ほども申し上げましたように本人申請でございますけれども、どういうお年寄りの方が、ひとり世帯とか、どこに住んでおられるのかということは私たちとして掌握できませんので、やはりそういう点は区長さん方、あるいは民生委員の皆さん方のお力をかりて申請していただければと思うところでございます。市として、何も手だてをしないということではございませんので、その点を御理解いただきたいと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） だから、民生委員さん、区長さんにもそういう声かけを、そっとしてもらえませんか。どうですか。

○議長（堀江 隆臣君） 市民生活部長。

○市民生活部長（佐伯 秀昭君） 事実としてそういう状況があるとすれば、私たちのほうでもそういう、区長さん方とか民生委員さん方に、お年寄りの方、そういう状況がもしわかるとすれば、何らかのお願いをすることは可能かと思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 同じ不知火海に面した姫戸町は対象地域に入っておりません。一番初めの段階では、対象地域は龍ヶ岳町の大道地域だけでした。私は、なぜ対象地域が大道だけなのかも知っていましたし、同じ龍ヶ岳町の中で高戸と樋島が入っていないかも知っていましたので、県との交渉で説得し、手帳交付指定地域に入れてもらうことになりました。そのとき姫戸町も言うておけばよかったのですが、そこまで頭が回らなかったのです。そのうちに、姫戸町には力のある方もおられるので、出しゃばるわけにもいかないなという思いもありました。同じ隣町でも、その当時、高戸の漁協に姫戸の鮮魚屋さんも魚の仕入れに来ておられました。県の漁業権も天共第12号ということで、龍ヶ岳漁協も姫戸漁協も、大道漁協も、樋島漁協も同じ天共第12号であります。水俣の宝川内地区で山津波による水害が発生したとき、その地区のミカンかごとかプロパンのボンベとかいっぱい、高戸とか姫戸にもいっぱい流れていきました。

昭和34年12月19日の、これは熊日の記事のコピーであります。工場汚水排水に反対し、水俣工場に正門を破って乱入して投石をしたということで、天草の各漁協の事務所と組合長の自

宅の家宅捜査を受けた記事があります。私のうちも家宅捜査を受けました。姫戸漁協も受けたのですが、この家宅捜査を受けた漁協の中で姫戸漁協だけが指定地域に入っておりません。

当時のことを私は覚えておりますが、猫はぐるぐる回るし、魚は売れず、漁民の方は皆さん困り果て、船団を組んで、小さな船で長崎県の対馬のほうにイカ釣りに行ったり、南の海に一本釣りに行ったりしていました。今の船とすればエンジンも小さく、船も木造船で小さく、現在の人だったら行けないと思います。食っていくためには魚の売れるところに行って働く、その一念だったと思います。姫戸の牟田地区の人たちも、あそこはほとんどが、当時は笹舟という船で対馬に行かれたようです。今は、船はヤママーとかヤマハで、格好も同じような感じですけども、当時は地元の造船所がつくるということで、船団を組んでいく船を見ると、ああ、あそこは、あの船はどここの地区の船だということが、地元の造船所のつくり方でわかっておりました。対馬のイカ釣りのほうは、冬の寒さとしけで、小さい船では大変だったのではないのでしょうか。1年ぐらいで、あとは続かなかったようです。

2009年9月21日、水俣病大検診が龍ヶ岳町高戸の病院の横の体育館で行われ、98%の人が水俣病または水俣病の疑いがあると診断されました。水俣病のおかげで、不知火海の漁師の皆さんは大変苦勞しておられます。環境大臣も、すべての水俣病の疑いがある人を救わなければならないと言われております。天草市の安田市長は水俣病問題には真剣に取り組んでおられる、そういう声を聞きます。川端市長もいろいろ頑張っておられるんだよと言うんですが、まだまだ市民の人には理解されておられないようです。姫戸地区も手帳交付指定地域に入れてもらえるよう、市長には県との交渉ができないでしょうか。お伺いします。

○議長（堀江 隆臣君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） 水俣病の関係で、多くの方が大変な思いをされているということについては、私も承知しているところであります。

この指定地域についての認定作業は国、県でございましてけれども、私が何らかの動きをする必要があるということであれば、そのときは私も、市のトップとしての立場で行動はしたいと思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣議員、ちょっと申し上げます。発言の中で、個人を特定できるような発言の場合は後ほど問題になる可能性がありますので、慎重な発言をお願いいたします。

○13番（北垣 潮君） はい、わかりました。

次に、認知症対策についてお聞きします。

熊本県は認知症サポーターの数は日本一だということで、蒲島知事は頑張っておられます。また、先日の熊日の新聞紙上では水俣市議会議員全員が認知症サポーター養成講座を受けられたことが記事に載っていましたが、上天草市の受講者数は市民、職員、議員、どれくらい受講されておられますでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） 認知症サポーターの受講者についてでございますが、上天草

市主催の認知症サポーター養成講座を受講された方は22年度、22年の3月末現在で549名でございます。その内訳としましては市民の方が455名、市長及び職員合わせて88名、市議会議員の皆様が6名となっております。

ちなみに平成21年度におきましては、336名の方が受講されておりますし、22年度に入りましてJAあまくさの女性部の方を中心に4月、5月で330人ほどの受講者がおられます。

21年度の受講者の中での内訳でございますけれども、市民の方が253名、市長及び職員が77名、市議会議員6名となっております。

議員御承知かと思いますが、認知症サポーター養成講座は認知症を知る10年キャンペーンの一環としまして、地域や職場において認知症を理解し、認知症の人や家族を支援するなどの養成をする事業でございまして、平成17年から全国で実施されているものです。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 上天草市内の認知症の患者さんの人数はどれくらいでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） 上天草市内の認知症患者さんの人数ということでございますが、平成22年5月現在の介護保険認定者の中で1,972名、認定者が1,972名おられまして、そのうちに認定のときに主治医の意見書というのがありまして、主治医の意見書の中に基づいて認知症1以上と判定された方が1,539名おられます。認定者の約80%が何らかの認知症状を持っておられるという状況でございます。

以上です。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） そこでお伺いしますけれども、認知症の患者さんの家族を対象にとか、認知症の親戚の人とか、身近に接する人を対象にしたサポーターの講座を開く予定はないでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） お答えします。

認知症の患者さんの家族を対象にした講座の開設についてでございますが、現在広報等を通じて老人会や各種団体等の開催の啓発を行っております。依頼に応じて、いつでも応じている状況でございます。

認定患者さんの家族対象の事業としましては、介護者が介護技術の習得、介護者間の仲間づくりのために、家族介護教室ということで、旧地区の4単位で毎年3回、計12回実施して、毎年100名以上の方が参加されております。

以上です。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 私も、認知症サポーターの養成講座を受けて本当によかったと思っ

ています。認知症を理解することが大事だとわかりました。

私もこの認知症を学び、地域で支えようという冊子の、この講座でもらったわけですが、20ページとか21ページの、認知症の人と接するときの心がまえとか、22、23ページの認知症介護をしている家族の気持ちを理解するというこの辺が、確かによかったと思っております。

まず、私が家族を対象にということは、認知症の家族の方が本当に認知症を理解していない人が私の親戚とかにもおまして、うちのおばも認知症になっているんですけども、やはり認知症になると、皆がばかにしたような感じで接することが多いと思います。本当に病気を理解するためにも、家族を対象にした講座も開いてもらうようお願いしたいと思っておりますけれども、どうでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） 議員もそういうことで、親戚、家族にということでございます。私の家族にも、少々認知症が入った家族がおります。実情はわかります。

そういうことで、この認知症サポーターというのは、認知症を正しく理解していただくということでございますので、やはり地域の方々に、職員を含めて地域の方々に、先ほど言われましたこの資料の20ページ前後にそういうことが書いてあります。議員の皆さん、6名の方は講習を受けられて理解されているかと思えます。やはり、正しく理解して、みんなで、その地域で支えていこうということでございますので、ぜひとも、うちの職員を含めて研修会等を進めていきたいと思えます。家族も含めて、そういう受講者を多くしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） ぜひともお願ひします。上天草市内の多くの人に受講してもらい、認知症の方を地域で温かく支えればと思ひます。

最後に市長の、認知症の取り組みについての見解をお聞きします。

○議長（堀江 隆臣君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） 私も認知症について、当初知識もなく、そう大きい問題ではないだろうと思っていたんですけども、昨年認知症サポーターの講座を聞きまして、認識を新たにしたりとあります。これは差別的なものではなくて病気でありまして、家族とか地域が、こういった方々を病気として認識し、そういった方々を支えるという、そういう作業がこれから大変必要になるかというふうに思ひます。

正確な数は忘れましたが、これから日本全国でも、たしか数百万人の認知症患者が出るだろうというふうに想定されておまして、社会的にも大きな問題になるだろうというふうに思っております。きょう御提言いただいたことを何らかの機会で行うことができるように、これから担当部署とともに検討させていただき、また実行に移させていただきたいと思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） よろしくお願ひします。

次に龍ヶ岳中学校の、小学校、中学校の統合について質問を届けておりましたところ、松商を愛護する会の方から、関連質問をしてくれとのことでありました。議長に相談しましたところ、関連していればよろしいということで議長のお許しをいただきましたので、質問させていただきます。

おととい、私の頭もぼさぼさしていましたので屋根がえに行ったところ、上天草高校にことし入った生徒さんが、倉岳高校に行けばよかったといった話を聞きました。まさか、いじめとかそういうのではないと思いますが、そのことについても、そっとわからないように聞き取り調査ができないでしょうか。いじめがないかなということで、聞き取り調査ができないかということで――。

○議長（堀江 隆臣君） 余り関連性があるかわからないけれども、総務企画部長、御答弁をお願いします。

○総務企画部長（永森 良一君） 今、散髪屋でのやりとりだと思いますが、そういうことを議員がお気づきになり、実際また、その当事者の本人がそういうことを訴えたのであれば、それが一つの実態でありますので、相談に乗るなりということは、当然しなければいけないだろうと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） ぜひともお願いします。

関連質問をしてくれというのは、これではないんですよね。簡単な質問だと思いますので、市長の答弁をお願いしたいと思います。

関連質問をお願いしますということで、市の教育委員会は小中学校のよりよい学校教育の環境整備のために小中学校の統合に尽力されておりますが、その成果を中学生の進路に生かされなければなりません。しかしながら、県が進めている上天草市地域の高校再編統合は、当地の高校教育環境を大きく悪化させております。具体的に見ると、再編統合校の上天草高校への入学者数は、新設の情報会計科も、福祉科も定員に届いていなくて、学校全体でも定員200名に対して40名も少なく、大幅な定員割れであります。しかも、前年の大矢野、松商、東高校への入学者数よりも15名も少なくなっており、閉校された松商、東高校の受け皿にはなっておりません。

一方、進学状況から見ると、上天草市の中学卒業生数355名の中、上天草高校への進学者数は149名で42%にしか過ぎず、魅力ある高校の一つの目安として市長が示された6割には、はるかに及びません。再編統合の結果、地元の多くの子どもたちは再編統合以前よりも熊本市内、宇土、八代、本渡、鹿児島の出水の学校に進学しており、子どもたちと保護者を犠牲にした再編統合であります。県下でも最も所得の低い上天草市が、再編統合でなぜにこんなに差別、冷遇されなければならないのかわかりません。何のための再編統合であったのか、はなはだ疑問であります。

質問。再編統合結果はどう評価するのか。当地の高校教育環境の大幅な悪化に対して、県教育委員会に何を要求するのかという質問であります。

○議長（堀江 隆臣君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） まず、その散髪屋でのお話については個別、具体的な問題ですから、内容をよく精査してしないと、これはコメントのしようがありませんので、ここでは差し控えたいというふうに思います。

それと、高校再編に伴う差別的結果ではないかということでもありますけれども、これもよく検証しないと、私としてもはっきりとしたことは、この場では申し上げられないというふうに思っております。

また、当初想定していました6割に満たないということでもありますけれども、これについては私も大変不満がありまして、当初我々としても上天草市民、あるいは子どもたちにとってとにかく魅力ある高校を設置いただきたいと、そういう思いの中でさまざま活動をしたところでありましたけれども、結果としましては残念な数字になっておりまして、これについては私も大変不満のあるところ、また県教委、あるいは県当局に対しましてこれから要望、あるいは意向を伝えていくべきではないかというふうに思っております。

今回の再編そのものが失敗であったのかどうか、という点の最終結論にはまだ至っておりませんが、その点、もし結論が出れば、また別の行動が必要ではないかと思っております。今の段階では、まだよく精査して、検証して、また子どもたちの受け取り方とかそういうこともよく聞かなければいけないのかなというふうに思っているところであります。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 時間がちょっと少なくなりましたが、私の本題の龍ヶ岳地区小学校、中学校の統合について質問します。

統合問題のこれまでの流れと書いておりましたけれども、ここはもう省きます。校地はどうなっているのかということと、別館会議室もとり壊されるそうですが、その場合龍ヶ岳支所の一室を別館会議室と同じように使われないかという、龍ヶ岳高戸地区の婦人会の人たちの声もありましたけれども、それについては答弁をお願いします。

○議長（堀江 隆臣君） 教育部長。

○教育部長（村枝 誠二君） それでは、北垣議員から今回、龍ヶ岳地区小学校統合の御質問をいただきましたことに、まずもって感謝を申し上げます。

ただいまの御質問の答弁に入る前に、私なりに議員皆様にお願いと、統合の重要性を再度、議会の皆様に御認識していただく機会を与えていただき、少しの時間をお許し願ひ、発言をさせていただきますと存じます。

まず初めに、議員皆様も御承知のとおり、4町合併をなし遂げるため、地域の住民はもとより、旧4町長並びに議会議員の皆様も4町合併に対し、いろいろな重要案件を克服しながら、平成16年3月に4町合併、誕生をなし遂げられたことは御承知のとおりでございます。

ちょっと、待ってください――。

○13番（北垣 潮君） 議長、私の質問したことを答えてもらいたいと思います。

○**教育部長（村枝 誠二君）** はい、わかりました。

ちょっと、発言を、いいですか。

○**13番（北垣 潮君）** いや、もう時間が足りないんです。延長してもらったら――。

○**教育部長（村枝 誠二君）** もう終わりますから――。

○**議長（堀江 隆臣君）** 北垣議員の質問ですので、北垣議員が要点のみでいいということですので、質問に対してのみ答えてください。時間が限られております。

○**教育部長（村枝 誠二君）** いや、統合の重要性を、ちょっと皆様に御理解をしていただくということをお願いをしています。

○**議長（堀江 隆臣君）** 教育部長の言い分もわかるんですが、この時間は北垣議員の質問の時間ですので、北垣議員の意向に従ってください。

○**教育部長（村枝 誠二君）** はい、わかりました。

それでは、小中学校の校地についての御質問でございますけれども、中学校の校地につきましては、現在の龍ヶ岳中学校を校地と明確に示されております。

また、樋島、高戸、大道小学校の統合後の校地につきましては、これから具体的な建設計画及び仮校舎などの決定につきましては、上天草市公立学校施設整備検討委員会15名の委員さんによって、その建設場所や校地、また統合後の仮校舎などを7月から8月にかけて学校の現地調査などを踏まえ、それから会議などを数回開いていただき、最終的に8月中旬までに2件の案件を示していただくこととなります。（「議長」と呼ぶ者あり）

いや、まだあるんでしょう。

○**13番（北垣 潮君）** いや、校地についてですけれども――。

○**教育部長（村枝 誠二君）** 別館もあるんでしょう。

○**13番（北垣 潮君）** ああ、別館、はい、どうぞ。

○**教育部長（村枝 誠二君）** 次に、別館の使用につきましての御質問でございますけれども、この場合、駐車場及びスクールバスの迂回スペースとして別館会議所の用地がどうしても必要というふうに考えております。そういったことで、その都度、説明会の折にも説明をしてきたところでございます。

そういったことで、この件につきましては龍ヶ岳統括支所の管轄でございますので、総務企画部長より答弁をさせていただきたいと思っております。

○**議長（堀江 隆臣君）** 総務企画部長。

○**総務企画部長（永森 良一君）** 3月の定例会の折にも議員がお尋ねになった件についてですが、今別館が壊されるというような計画もあります。

その別館でどういう活用がされているかといいますと、まちづくり団体であったり、あるいは婦人会、地域の文化協会等の会議、あるいは農産物の調理場として使われているというようなことを認識しております。

そこがなくなった場合のことなんですけれども、確かに龍ヶ岳の支所の空きスペースをどう利

活用するかというのは非常に大きな問題でございます。今の段階では施設の管理等の問題がありますので、一つの案としては、1階の地下に広いスペースがございます。ここは、病院時代は食堂として、あるいは調理場として利用されていた部分でございますので、管理面から考えますと、地域に開放するというスペースとしてはこの場所が一番適当ではないかという思いがしております。

ちなみに、1階が事務室、2階が情報推進室の部屋がございます。そういうことを考えますと、この地下の利活用について早急に答えを出すべきだと、私自身は認識しております。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） さっき教育部長が、校地は龍ヶ岳中学校の校地と言われましたけれども、これは小学校ですかね。

○議長（堀江 隆臣君） 教育部長。

○教育部長（村枝 誠二君） さっき申し上げたのは、中学校は龍ヶ岳中学校を校地とするということで、答申に示されております。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） 小学校はどこですかね。

○議長（堀江 隆臣君） 教育部長。

○教育部長（村枝 誠二君） 小学校につきましては、来年3校が統合するわけですので、その後、さっき言いました新しい校舎を建設する場所を示していただきます。そういったことで、高戸小学校の跡地になるのか、それとも龍ヶ岳中学校の敷地内になるのか、この件につきましては8月までにお示しをしていただくということでございます。

○議長（堀江 隆臣君） 北垣君。

○13番（北垣 潮君） もう時間がありませんので、早口でいきます。

建設に際して、一流建築家でとか書いてありましたが、支持者の方からおしかりを受けました。一流建築家に頼めば何千万円もかかるんだよということで、学校は生徒が勉強しやすく、先生方が指導しやすい環境が一番だということでおしかりを受けました。

6月13日のテレビの報道2001で、60年前の規制で学校建築には木が使えなかったが、環境面も考え、学校建設に国産の木材を利用するようにしたいという蓮舫大臣の発言がありました。姫戸町には大きく育ったヒノキの町有林がありますし、床材には大矢野町の石とか、門柱には合津石を使ったり、全国に先駆けてのモデルケースになればと思います。教育長は現場のことが一番わかっておられますので、設計に際しての注意とか、国産材といいますか地元の建材を使うということについてはどのように思われますか。

○議長（堀江 隆臣君） 教育部長。

○教育部長（村枝 誠二君） ただいまの御質問ですけれども――。

○13番（北垣 潮君） 教育長です。現場の声が一番わかっている教育長に――。

○議長（堀江 隆臣君） 教育長。

○**教育長（鬼塚 宗徳君）** いや、これについては私よりも教育部長が専門でございますので、教育部長のほうに答えさせます。よろしゅうございますか。

○**議長（堀江 隆臣君）** 北垣君。

○**13番（北垣 潮君）** いや、もう長くなりますので、次にいきます。

樋島の統合説明会の中で一番要望が多かったのは、いつか桑原議員も何川市長のとき、一般質問でされておりました、高戸の瀬戸から商工会のところの橋のところに自転車道といいますか歩道をつくってくれとの質問をされたことがありましたけれども、この間樋島の説明会のときでも強い要望が樋島の人たちからありましたが、市長はその要望についてはどのように受けとめられておりますか。

○**議長（堀江 隆臣君）** 市長。

○**市長（川端 祐樹君）** これは、私も龍ヶ岳の地域振興協議会、地域審議会の中で要望、あるいは意見が出ておりましたので、認識しているところであります。通学時間に車との接触等が発生しやすい地域というふうに認識しておりまして、これは前向きに、整備に向けて取り組んでいきたいと思っております。

○**議長（堀江 隆臣君）** 北垣君。

○**13番（北垣 潮君）** 最後に、市長にお聞きします。

私は、3月8日に小中一貫校についての一般質問をしました。その後、3月8日の午後4時20分ごろ、当時の議会事務局長に別室に呼び出されました。そこには龍ヶ岳出身の2人の議員がいて、何でああいう質問をするのかということでした。悪い質問だったら議長が制止するだろうと思っていましたので、私も頭の中がICではなく真空管なものですから、対応できませんでした。

市長は、市長の部下が、職員がその中に入っていたということに対してどのように思われますか。日本国憲法第21条第1項、集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障するとあります。議会事務局長がそういうことをしたということについて、どう思われますか。

○**議長（堀江 隆臣君）** 市長、ちょっと、私が申し上げます。

当時は議会事務局長ですので、議会事務局長は市長の部下ではございません。議会としての事務局でございますので、当時の議会事務局長がしたことは、市長には現実的には関係ないと思います。

○**13番（北垣 潮君）** では、議長。

○**議長（堀江 隆臣君）** その件については後で報告を受けたんですが、事務局としてはそこまで議員に言う権利はないと思います。

ただ、この件については一般質問、この本会議で取り上げるべきことではないと思いますので、ここは議会内部のことですので、どうしても事務局としての対応に不満がおりならば全員協議会なり、その対応を図っていただきたいと思います。

以上です。

○13番（北垣 潮君） はい。

言論の自由の弾圧であり、議会制民主主義の弾圧そのものであります。何がしかの対応をお願いしたいと思います。

これで私の一般質問を終わります。

○議長（堀江 隆臣君） 以上で13番、北垣潮君の一般質問が終わりました。

ここで、10分間休憩いたします。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時10分

○議長（堀江 隆臣君） 休憩前に引き続き再開いたします。

6番、西本輝幸君。

○6番（西本 輝幸君） 6番、会派、研政クラブ、西本輝幸です。

議長のお許しをいただきましたので、一般質問をさせていただきます。通告どおり、2件について質問をしたいと思います。よろしくお願いします。

まず観光について、担当部長に数点伺います。21年度施政方針による観光再生元年の位置づけと根拠について、内容の説明をお願いいたします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） ただいまの質問でございますけれども、内容的にざっと言いますと中身がございませんので、時間的にはちょっと長くなるかと思っておりますけれども、お答えをしたいと思います。

根拠につきましては、国において平成20年10月1日に観光庁が設立されました。これは、観光が地域における消費の増加や新たな雇用の創出など幅広い経済効果や、地域に誇りと愛着を持つことができる地域社会の実現をもたらすと同時に、社会のグローバル化が進む中で、成長するアジアの活力を我が国に取り入れていくという観点からも、21世紀の我が国の国際経済社会の発展のために不可欠な重要課題となってきたためでございます。

このことは本市にとっても全く同じでございます。来年3月新幹線開通を控えまして、この時期に観光再生元年として観光客の増加を目指し、各種の観光振興施策を進めていくことが本市の市民意識や関連事業の意識を高揚させ、対外的なアピールとともに、より効果的に進めることができるかと判断したものでございます。

本市の観光客の入り込み数は、上天草市が誕生しました平成16年以降で見ましても、平成16年では総数が114万7,706人でしたが、平成21年には109万1,126人となっております。この5万6,580人の減少となっております。この5万6,580人の減少を金額的に見ますと、宿泊費や飲料費、商品の購入等も含めまして、観光消費額で約8億4,000万円の減少となっております。地域経済に及ぼす影響はかなり大きなものでございます。人々の

観光動向は経済状況に大きく影響されますが、観光が地域の重要な産業となっている本市におきましては、経済が落ち込んでいるこの時期にこそ観光振興に取り組み、観光が持つ幅広い経済効果を引き出したいと思っております。関連するほかの産業振興にもつなげることが非常に重要であるという観点から、観光再生元年と位置づけたところであります。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） いろいろ、担当部長のほうから説明を受けましたけれども、余り長くて難しく、ちょっと理解に苦しみましたけれども、私の考えでは、観光再生元年という言葉を使うならば、もう少し観光について力を入れるべきだと思うんですね。例えば、開通当時が何人来たから、今は減っているでしょう。だから、それを再生するためにどういう手段をとるんだということが観光再生元年につながる根拠ではないかと思うんですね。その点はどうか考えますか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） その件については、全くそうだと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） では、海外からの集客を視野に、滞在体験型観光を目指すということですが、事業内容として何を考えておられましたか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 滞在型観光につきましては、本市だけではなく多くの観光地が目指しているものと考えております。

観光客が移動しながら観光地や観光施設を見る周遊型観光ではなく、滞在地で農業や漁業等の地域産業で郷土芸能等を観光客の皆さん方に体験していただきまして、1カ所に2泊3日以上滞在していただくというものでございます。

本市の滞在型観光はどのようにして進めるか、また具体的な方向性の決定には至っておりませんが、まずは滞在者が楽しめる、リピーターが期待できる体験プログラムの造成に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 具体的な内容はわかりませんか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 具体的な内容につきましては、私も今から勉強させていただきたいと思っておりますので、これは申しわけございません。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） では、観光再生元年としての21年度、22年度の事業内容の説明をお願いいたします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 観光再生元年の事業の取り組みといたしましては、まず目指したのは、これまで4町が別々に活動してこられました観光協会が一体となって活動をされる体制づくりでございます。これも皆さん方御承知のとおりでございますけれども、6月1日に旧4町の観光協会の皆さん方御理解のもとに、あまくさ四郎観光協会としてスタートしましたので、今後はこのあまくさ四郎観光協会を中心といたしまして、上天草市の観光振興が効果的に図られるものと思っております。

それにつきましては20年度の繰越予算、21年度での予算、22年度によります予算等も含めまして取り組んでいきたいと考えております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 私の質問とちょっと違うところがあります。21年度と22年度の事業計画一覧表があるでしょう。この事業内容は何をされたかということですよ。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 21年度につきましては、事業が36項目ぐらいございます。この中には、緊急雇用対策事業なども含めましていろいろな事業がありますけれども、その中で観光といたしましては、上天草市の環境美化向上事業とか、観光案内の窓口強化事業等を行っております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 21年度、22年度の事業内容を見てみると、観光再生事業につながる仕事ではないですね。ほとんどの事業が旧町時代の維持管理費、また委託料、人件費であって、施政方針である観光再生元年にはつながっていないと思いますが、部長、その点はどうか考えますか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 確かに、目玉となるような新たな観光施設の整備等について十分な取り組みを行うことができておりませんが、維持管理的な事業にありましては、既存施設に少しずつ予算を確保し、手を加えているところでございますけれども、少なからずとも観光再生につながるものであると認識はしております。

また、委託料や人件費につきましても、観光再生事業等のその取り組みを進めるための基礎的な費用でありまして、必ず必要なものと認識しておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 意味はわかりますけれども、観光再生という言葉を使えば、この予算も、今まで観光客が少なかった、それを再生するためにどうするかということについての予算をとるべきであって、維持管理費とか委託料とかの予算の組み方ではいけないと思うんですね。本当に観光再生をするならば大々的なことをしないと、これは観光再生にはならないと思

うんですよ。その点について、答弁をお願いします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 22年度の予算案と21年度の繰越明許も含めまして、東京、大阪の地下鉄に観光宣伝のためのピクチャーボードの設置とか、観光協会の事務機能や事業開発、情報発信機能を強化するための各種委託事業、雲仙天草国立公園圏内事業としまして定着型の商品開発事業、モニターツアー宣伝広告費用、天草四郎メモリアルホールや樋合海水浴場等の周辺整備とか、天草四郎公園の街灯整備事業等を22年度には予定しております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） はい、わかりました。では、次にいきます。

次に、島原天草国立公園展望所についてお尋ねをいたします。

千巖山は標高162メートルで、展望所からの眺めは、複数の入り江と大小の島々が海と緑の調和のとれた景観で、昭和10年6月に国の文化財に、昭和31年7月に国立公園に指定されています。天草五橋パルラインが一望できる景勝地ですが、管理設備が全くなされておられません。例を挙げてみますと、山頂に行く途中に70メートルぐらいの長い階段がありますが、老人の方には手すりもなく、障がいのある人にはスロープもなく、せっかく観光に来られても山頂まで登れなくて、途中で帰られています。また、遊歩道も数カ所ありますがほとんど利用されていませんし、歩ける状況でもありません。

また今の状況では、もしイノシシが出現して観光客が襲われた場合に新聞、テレビで報道されますと、そういうことになると千巖山にはだれも来なくなるおそれもありますので、今のうちに対策を考えなければいけないと思いますが、部長は登山されたことがありますか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 私は、この課題をいただきましたときと、またけさ行ってまいりました。

遊歩道につきましては、現在アジサイが咲き乱れております。しかし、議員が申されました遊歩道の一部のところについては草刈りがされておりますけれども、全遊歩道の草刈りは現在なされておられません。しかし、私も遊歩道を歩きましてわかりましたが、雑木のほうが茂っておりまして、人の肩に当たったり頭に当たったりするような現状でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 登られたことがありますかという言葉ですから、あるかないかでいいです。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） はい、あります。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） では、今から質問に入ります。

今言われましたように、登られたときの印象と感想を述べてください。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○**経済振興部長（坂中 孝臣君）** 今申したとおりでございますけれども、本当に議員が申されたとおりで、人が歩くと、歩いた人の頭に当たったり肩に当たったりするような雑木が茂っておりまして、それとやはり、天気が悪いときにはその遊歩道が暗いような状況にも思いますので、そこは体験してまいりました。

○**議長（堀江 隆臣君）** 西本君。

○**6番（西本 輝幸君）** 理解されておられますので、いいです。

では、私の提案ですけれども、千巖山一帯の自然を活用して、余り大きくならない花木を植えて、景観と観賞を楽しむ、特色ある公園化を目指すことによって、人が集まる観光地にするイメージ変換の考えはありませんか。また、文化財の指定、国立公園の指定を、観光地としてどう集客して活用されますか。

この2点について、答弁をお願いします。

○**議長（堀江 隆臣君）** 経済振興部長。

○**経済振興部長（坂中 孝臣君）** 千巖山につきましては、年間を通じまして清掃作業を行っております。周辺の環境の美化も図っているところですが、私も展望台に行きましたけれども、確かにすばらしい景観であります。そしてやはり、多くの方々に来ていただきたいところでもございます。

しかし、議員が申されました展望台の山頂への階段、遊歩道は、高齢者の方々や障がい者の方々にとっても、やはりどうしても、十分な配慮がなされているとは思いません。私もきょう行きて、やはり滑ったりとかするような状況かと思えます。

ですので、そのところも含めまして、千巖山一帯に花木を植えたり、公園化したり、観光地にすることによって、現時点では計画は持ちませんけれども、議員が申されたことについては私も賛成でございますので、取り組んでいきたいと、そういうような感じで考えております。

○**議長（堀江 隆臣君）** 西本君。

○**6番（西本 輝幸君）** 大変ありがたい言葉をいただきまして、ありがとうございました。ぜひ、実行してもらいたいと思います。

最後に、文化財、国立公園の指定を観光地にしてどう集客して、活用されますかということについてはどうですか。

○**議長（堀江 隆臣君）** 経済振興部長。

○**経済振興部長（坂中 孝臣君）** 国立公園の指定を受けておりますので、その要件の中に同一の風景、景色中、我が国の景観を代表するとともに、世界的に誇り得る傑出した自然の景観であることと書いてありますので、本市が雲仙天草国立公園の指定を受けておりますので、観光地としてそれだけの大きな、対外的なアドバンテージもあるものと思っておりますので、自然風景に上天草市独自の資源であります文化財や観光施設、地域産業や人を絡めた、魅力のある観光プロジェクト等を造成しながら、観光客の誘致を図ってまいりたいと思っております。

○**議長（堀江 隆臣君）** 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 文化財の指定、国立公園の指定を受けている観光地ですけれども、これは国とか県からの、何かの助成金はないんですか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 済みません、もう一度お願いします。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 文化財の指定、国立公園の指定を受けているわけでしょう。だから、国とか県からの、助成金か補助金は何かないんですかね。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） その件については、私もまだ勉強不足でございますので、調べさせていただきたいと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） できれば、私はあるのではないかと思うんですよね。ぜひ、これは調べていただいて観光に、この千巖山に力を入れてもらいたいと思います。では、部長の観光に対しての意欲を期待いたしまして、次の質問に入ります。

次に、雇用対策についてお尋ねをいたします。21年度から緊急雇用対策事業が実施されましたが、雇用された方、されなかった方もおられ、この事業がよかったのか悪かったのか判断に苦しむところもありますけれども、雇用対策事業によって各関係事業者との共通する点はなかったですか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） この事業を実施しましたことについては、私たちはよかったと思っております。緊急雇用対策事業につきましては、市道や林道、公園等の草刈り等を行うものが多くありましたので、これまでが建設業者等へ事業委託をして対応していた部分もあったかと思っておりますので、そこも共通したものと認識しております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） だから、その土木業者が、仕事がなくなったということでしょう。そのかわり、ほかの雇用は生まれたと。そういう関連がつながってくると思うんですよね。

それで、この事業内容は大体――、あ、後で聞きます。次にいきます。

事業費の中で緊急事業、ふるさと対策事業、二つの事業がありますけれども、この事業内容の説明をまずお願いします。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 緊急雇用創出基金事業につきましては、大きく分けまして緊急雇用事業と重点分野雇用創出事業がございます。

まず緊急雇用についてですが、企業の雇用調整等に離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までつなげるための短期間の雇用、就業機会の提供を行うものであります。

次に重点分野雇用創出事業につきましては、緊急雇用創出事業のスキームを活用し、成長分野として期待されている分野において、短期の雇用、就業機会の提供を行うものであります。地域人材育成事業といたしましては、緊急雇用創出事業のスキームを活用し、成長分野として期待されている分野において、短期間の雇用機会の提供と人材育成を行うものであります。

また、ふるさと雇用再生特別基金事業につきましては地域内でニーズがありますので、今後の発展及び地域における雇用継続が期待される事業において、地域求職者等の雇い入れを行いまして、安定的な雇用機会の創出を行うものであります。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） いろいろ内容の説明を受けましたけれども、この緊急雇用対策、ふるさと雇用対策の中に委託件数が5件で、21年度分ですけれども、委託件数が5件で雇員人数が5人ということですのでけれども、これはどこに委託されたんですか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） これは直営ではございませんので、これにつきましては民間企業であったり、NPO法人であったり、観光協会であったりというところで、委託事業につきましては、市役所が直接雇用していない事業でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） なら、この事業は応募、各事業所にこういう事業がありますということは、説明はどこにかされたんですか、だれかに。事業者に対して。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 広報紙を通じまして公募を行いました。人選、試験につきましてはいろいろ、各部課長複数で面接をしていただきまして合格者を決定したというようなことで、広報紙を通じた公募となっております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） では、21年度の緊急雇用とふるさと事業の合計金額は幾らですか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 21年度の事業といたしましては、31件の事業で112人の実雇用で、募集者が181人おられました。委託事業としましては5件の事業で――。

○6番（西本 輝幸君） いや、金額だけでいいです。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） はい。金額で約7,195万5,000円となっております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 22年度の大体予算は。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 22年度につきましては1億7,083万8,000円を予定しております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） この事業、国から県に委託されて、県から市の要望によってこの金額は出たわけでしょう。ですから、各市町村との割合は、少なかったんですか、多かったんですか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） これは多かったと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） はい、わかりました。

では、21年度、22年度の5月までの雇用人数に対して、応募者は何名おられましたか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 緊急雇用対策につきましての応募者数は、平成21年度は181人となっております。平成22年度につきましては、まだこれから行いますけれども、委託事業の雇用もありますので、最終的には事業完了後に実績のまとめを行いますけれども、既に実施した分がありますので、57人の募集に対して171人の応募者がっております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 人選にも大変苦労されたと思いますけれども、その人選方法はどうされましたか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） これは、関係する部課長等が複数で面接官となりまして、個別あるいは集団の面接試験を実施して、合格を決定いたしましたということでありまして。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 具体的な、採用した決定的な条件はわかりますか。どういうことで決定しました、どういうことで不合格でしたということは答弁できますか、できませんか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） その件については、人選等につきましては総務企画部長のほうでお願いしたいと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 総務企画部長、答弁できるならいいんですよ。答弁できれば、お願いします。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） 私のほうで、最終的に決定をさせていただいております。

今、経済振興部長のほうで申し上げましたように、複数の職員が面接をいたしまして、何を視点に面接をしたかといいますと、まず生活の困窮度、これについて絞って面接をしてくれと。もちろん、私も一人の面接官として面接をいたしました、もう極端な話でもございませぬ。もう生活する金がないと、何とかして働きたいというような生の声を聞き取りますので、そういう方

を優先的に採用しております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） やはり、そういう選出の仕方が、私もいいと思います。

では、応募された方で、世帯主の方は何世帯で、年齢は何歳から何歳まで雇用されましたか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 今の件ですけれども、募集された世帯主はということですが、世帯主であるかないかは、雇用に当たっての応募要件には含まれておりませんでした。それで、世帯人数につきましては、履歴書に世帯主であるかどうか記載がありませんでしたので把握はしていませんけれども、採用された年齢につきましては22歳から63歳までということで、ハローワークからの指導により年齢制限は設けてありません。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） はい、わかりました。

では、23年度から緊急雇用対策の事業費の見通しはありますか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 見通しはということですが、緊急雇用事業等につきましては事業が前倒しで実施されておりますので、23年度以降の事業費が継続されて確保されるのかは厳しい状況にありますと認識しております。多額の財源が必要となりますので、雇用対策事業につきましては市単独で実施するのは非常に難しいのではないかと考えます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） 今の答弁では、23年以降は大変厳しいということですが、これがもし実施されない場合には失業者も多くなり、市民の方も生活が苦しくなり、それにつながって税収も、滞納にもつながる可能性もありますけれども。

では、失業対策はどのように考えておられますか。

○議長（堀江 隆臣君） 経済振興部長。

○経済振興部長（坂中 孝臣君） 先ほども申し上げたとおりでございますけれども、市が雇用者となるような失業対策は、国や県等の財政支援がない限り非常に難しゅうございます。何らかの失業者の対策は必要になるのではないかと認識しておりますので、できる限り失業者の対策を講じたいと考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） では市長、ちょっといいですか。

今、部長からも答弁がありましたけれども、失業対策がもしなかったら大変なことになると思いますので、市長の考えとしては、どういうふうと考えられますか。大変難しい質問だと思えますけれども。

○議長（堀江 隆臣君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） 今回の緊急雇用創出並びにふるさと雇用再生特別事業は国の行っている雇用対策の一環でありまして、その制度上、我々も手を上げて取り組んできたところであります。

その基金がもうなくなるということでありまして、単独での実施ということになりまして、その際は財源として一般会計ということになりますけれども、やはり数千万円あるいは億単位のお金になりますので、ハードルは高いのではないかなというふうに思っております。

ただ一方で、国の経済状況が好転しない中で市も同じ状況でありまして、その失業者対策あるいは新たな雇用をどう創出するかというのは、経済振興全般を眺める上で我々が根底から認識している問題でありまして、それについて鋭意、いろいろなやり方を使って努力したいと思っております。

具体的になかなか進みませんが企業誘致、あるいは農業、漁業あわせた一次産業、そして二次産業、三次産業、すべてにわたる振興を通じまして、地場産業等に受け皿ができればなというふうに思っておりますけれども、それを実現できるように、皆さんとともに努力させていただきたいというふうに思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 西本君。

○6番（西本 輝幸君） はい、わかりました。

失業対策には最大の努力をしていただくようお願いをいたしまして、私の一般質問を終わります。

○議長（堀江 隆臣君） 以上で、6番、西本輝幸君の一般質問が終わりました。

ここで昼食のため休憩し、午後1時から再開いたします。

休憩 午前11時47分

再開 午後1時00分

○議長（堀江 隆臣君） 午前中に引き続き再開いたします。

10番、川口望君。

○10番（川口 望君） 10番、会派みらい、川口望。議長のお許しがありましたので、ただいまより、通告どおり3点について一般質問を行いたいと思います。

なお、本当に答弁がよければ、なるべく短時間で最後を飾りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

前回は最後だったんですね。今回も最後ということで、我ながら私のくじ運の悪さには本当感心するところがございますけれども、本来ならば西本議員が早く終わって、傍聴の多い午前中に私も繰り上げでやりたかったというのが本音ですけれども、最後ということで気合いを入れて頑張りたいと思います。

それでは、通告順に沿って質問いたしたいと思います。まず、1番の家裏がけ崩れ見舞金につ

いて質問したいと思います。

時期的に、今梅雨時期となりました。今回補正でも上がっております5月の集中豪雨、かなりの被害も出ております。最近見受けられるのが、ゲリラ豪雨ということで局地的な大雨がかなり、これは年間を通してふえてきているのが現状だと思います。その点で、私も市民の皆様方からは、特に一番多いのがやはり市道沿道のがけ崩れ、もしくは家裏がけ崩れ、この相談が一番多い現状であります。

そこで、まずこの見舞金について、まず前年度の件数、これは市への問合せの件数です。それと、支給件数と支給金額をまずお聞きしたいと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） 家裏がけ崩れの見舞金についてお答えします。

まず、1点目の前年度の件数でございますけれども、前年度21年度におきましては問い合わせがあって調査した件数は2件でございます。支給件数は1件で、2万円支出しております。

2点目の支給件数、支給金額について。これまでの支給件数及び支給金額につきましては、合併した16年度から21年度まで御説明したいと思います。

16年度におきましては調査件数が10件、支給件数は1件、2万円の支払いをしております。

17年度は調査件数が5件、支給は2件の、6万円の支出をしております。

18年度は調査件数が18件、支給は1件の3万円でございます。

19年度は調査件数はゼロでございます。したがって、支給もゼロでございます。

20年度は調査件数が39件、支給は4件、支給金額10万円支払っております。

以上です。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 21年度は2件だったんでしょうか。市に対する問い合わせというのは2件だったんでしょうか、全課合わせて。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） 一応、その自宅の方からうちの建設部のほうに問い合わせがあった分は2件でございます。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） では、総務、農水あたりに問い合わせた分というのは含まれていないわけですね。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） そのとおりでございます。

集中豪雨で、今川口議員がおっしゃったとおりゲリラ的な豪雨が多くて、やはり崩れて、総務課、農林水産課、建設課等が分かれて調査に行きますけれども、例えば家にかかっていない場合は該当しませんので、そういったことは調査件数に入っていないというところでございます。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） ということは、崩れてはいるけれども調査対象になっていない件数というのは、かなり多くあるわけですね。はい、わかりました。

それで、まず根本的には、この見舞金の内容というのは、ある意味重機の借り入れに対する助成と私は、基本的には受け取るわけですよ。

それで、今手元に要綱があるんですけども、この要綱には結局、まずこの第2条ですね。自然ながけ崩れにより家屋が被害を受けた場合、自然ながけからの倒木により家屋が被害を受けた場合、3番目が自然ながけ崩れ、土砂等により住宅等に被害はないが土砂等が家屋にかかっている場合と。この自然ながけというのがこの要綱には載っているわけですよ。ですから、この要綱に基づいて調査対象になっていないと理解してよろしいでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） 御指摘のとおりでございます。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 私も大矢野町に住んでおりますけれども、自然ながけの下に建っている家というのは、物すごく軒数は少ないんでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） そのとおりでございます。

特に龍ヶ岳、姫戸は山裏に家等がありますので、特に上天草市は裏山が多いと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 前回、5月の豪雨のときに、私も総務部の職員の方に、がけ崩れがあったということで報告いたしました。その家は前回は崩れているんですね。

それで言われたことが、結局この要綱に当てはまる災害というのは、それ以外は災害ではないのかと私は言いたいわけですよ。やはり職員さんも、気の毒そうに言ってくれるんです「済みません、できませんでした」と。そういった声が非常に大きいというのを感じました。

ですから、この自然ながけというのは、私はこの要綱とか、まずこの見舞金の中から省いたほうがいいと思うんですけども、どうでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） これまでに被害を受けられた方からの意見等としましては、今の要綱では見舞金という形でして、土砂の取り除きとか、そういう災害復旧ではございません。今後関係各課と協議して、要綱等を改正いたしまして、土砂取り除き並びにブルーシート、ああいうものの配付等も考えていきたいと思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） はい、ありがとうございます。それは私も帰ってすぐ、私の支援者の方、いろいろ市民の方にも伝えたいと思います。

本当に今、例えばお年寄りが一人で住んでいて家の裏が崩れたと。実際、重機も入らないような家がやはり多いんですよ。

それで部長、がけ崩れの撤去作業というのはされたことがありますか。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） 旧町時代は何度か行ったことがありますけれども、合併してからは行ったことはありません。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 本当のがけが崩れた場合は、こんな大きい石があったり、カヤの大きい根とか。また濡れているし、撤去作業というのは、手でするのは本当に大変なことです。お年寄りあたりも、業者は呼びたいけれども、先ほどの津留議員の質問ではないですけれども、やはりいろいろ国保とかも払う大変な家庭がそういった場合に陥ったときは、少なからずとも私は気持だけでも、まあ気持ちだけでもという言い方はおかしいんですけれども、そういった資金は必要ではないかと。

ですから、こういった要綱の中には、時間雨量20ミリメートル以上、最大風速15メートル以上とすると、こういった厳しい要綱は外して、ある意味広く、減額してもいいとは思うんですよ。そういった部分の見直しは必ず必要となっておりますので、今後はこういったゲリラ豪雨が本当にふえてきておりますので、早急にこの要綱あたりは改正をお願いして、結局自主防衛ということですね。我が身は我が身で守るとというのが現状ですけれども、単県の治山事業あたりなんかも結局間に合わないと思うんですよ、現状では。中山間地で山の多い、こういった姫戸、龍ヶ岳、まして大矢野あたりもそういった事業がなかなか、県からの数もかなり減ってきていると思うんですけれども、何とかして賄っていただきたいと思います。前向きな御意見をいただきまして、ありがとうございました。では、次に進みます。

続きまして、子宮頸がん予防接種についての質問に移りたいと思います。これは会派としても、うちの田中議員とも、この件についてはいろいろ話し合っ、今回は私が質問しますけれども、継続して、これも会派として取り組んでいきたいことなので、今回は先発隊として私が質問しますけれども。

これが2009年に初めて採択、承認が、予防接種として承認がおりたわけですけれども、最近私も、婦人会並びにPTAの保護者からの声が、非常に多いです。何とかならないかということ。

それで、いろいろ調べてみると、年間で大体1万5,000人が発症していると。その中で3,500人ぐらいが死亡しておられると、全体で。女性にとっては非常に怖い病気だと認識しております。

そこで、今各自治体でも、この子宮頸がんの予防接種についてはいろいろな動きがあっているとは思いますが、他自治体の状況というのを、これは熊本県内でもいいですけれども、簡単に教えていただければよろしいでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） 先ほど、冒頭、田中万里議員からということでした。

私も5月に議員から、子宮頸がんの接種状況とか全国の状況とか、子宮がんワクチンについていろいろ問い合わせがありまして、説明したところでもございました。それで、今回川口議員から子宮頸がんのワクチン予防接種について御質問でございます。県内の自治体の状況はということで、お答えいたします。

新聞報道で皆さん御承知かと思えます。熊本県内においては、子宮がんワクチン予防接種の助成状況は美里町、芦北町、小国町の3町が6月議会で補正予算を計上していると。これは6月14日現在の資料でございますが、その後、先日、きのうの、失礼しました、6月17日の情報では玉東町が全額補助するということで、県内の自治体では現在、4自治体が今回の6月補正で公費助成と。これの内容については、内容も一緒に――。

○10番（川口 望君） お願いします。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） その支給内容なんですが、美里町の状況については、対象者を小学校6年生の女子全員、50名でありますけれども3回のワクチンを希望者全員に全額補助ということで、6月補正予算で294万円計上されているそうです。その周知方法としましては、保護者に子宮がん検診を含めた予防について説明を行っていくという状況でございます。

続きまして、芦北町の状況はということでございます。芦北町は対象者を、今年度は中学1年生から3年生女子全員250名で、3回のワクチンを接種すると。希望者に全額補助を行うということで、来年度以降は中学1年生に対して実施していく予定でございますと。6月の補正予算で1,200万円を計上されております。周知方法としましては、対象者世帯に接種の勧奨の通知を行い、学校では養護部会を通じて周知を図る予定ということでございます。

小国町の状況は、対象者を小学6年生、中学1年から3年女子全員158名、3回のワクチンを希望者全員に、ここは半額でございます。来年度以降は小学6年生に対して実施していく予定ということでございます。同じく予算は350万円を補正するということで、周知方法としましては、保護者に子宮がん検診、性教育を含めたがん予防について説明会を行っていく予定ということでございます。

また、後で、緊急で、ある市が県内14市の状況をアンケート調査しているんですけども、それはよろございますか。

○10番（川口 望君） それも、よければ――。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） これは昨日、保健課の調べでわかったものですが、県内14市の状況でございます。

県内14市ありまして、現在補正をしたという状況はどこもありませんけれども、今検討中という自治体が熊本市、八代市、合志市、天草市、阿蘇市、この5市が検討中ということでございまして、あとの自治体においてはまだ検討なされていないということで、今後まだ、昨年秋からワクチン接種が承認されたということで、全国的な動きが現在なされているということで感じております。

以上です。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 市においては、まだ検討中ということですね。また、もしするとなった場合は非常に予算が伴うものでもありますけれども、この子宮頸がんの予防接種について、後遺症とか副作用あたりもまだ完全にはなっていない部分というのもあると思うんですけれども、そういった部分というのはいかがでしょうか、調査あたりは。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） これは、今ワクチンが承認されているのが1社なんですよね。その1社で実施されたわけですけれども、予防接種の後遺症といいますか、そういうのは現在まだ報告されていないんですけれども、例としてあるかないか、そこはまだ確認しておりませんが、いずれにしても予防接種のメリット、デメリット、出てくるかと思えます。今のところ、私は確認しておりません。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） まあ、ある程度、国の承認がおりているので、安全的な部分というのは、実際している自治体もありますので、私特に、やはり保護者あたりから言われるもので、市として取り組んでいただきたいという気持ちが強いですけれども、もしこの上天草市でこの子宮頸がんの予防接種をする場合は、予算的には、例えば全額補助という場合で大体幾らぐらいかかりますでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） まだ医師会から見積もりはとっておりませんが、全国の情報でよりますと、1人3回接種が必要なんです。3回で接種するのに5万円前後の費用がかかるということで、学年によりますけれども、対象をどの年齢でするかということもありますけれども、今小学校6年生、女性が135名おられます。これに5万円掛けていただければ700万円弱の費用が発生するかと思えます。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 本当、女性で言えば、乳がんの次に発症率が高いがんということで、このHPVウイルス、ヒトパピローマウイルスと言うらしいですけれども、これは性的接触した女性の80%が、生涯のうち感染すると言われていたウイルスですけれども、その中で、ある程度予防ができる部分というのがあれば、20代から30代の発症率が高いこのがんについては、本当に四、五万円ががんがある程度予防できると考えたら、私は安いものだと思っております。今後の少子化対策の一環として、市としてこの事業はぜひ取り組んでいただきたいというのを強く思うんですけれども、市長、この子宮頸がんについて、市としてやっているところはまだありませんけれども、市として行う予定はありますでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 市長。

○市長（川端 祐樹君） この件は、担当部署と早い段階から協議しておりまして、その必要性についても認識しているところであります。来年度から導入するかどうかの検討を今やっ

るところでありますけれども、現在国、県で盛んに議論が始まっておりますから、その動向を見ながら考えていきたいと思っております。

ただ、この抗体そのものが6年ぐらいしかないということを知っておりますので、その点もあわせて、よく調査をしていきたいというふうに思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 済みません、私、抗体が6年ぐらいしかないというのを今初めて聞いて――。

ではこれは、6年以降は効果がないというふうに理解してよろしいでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（杉田 省吾君） 今実証ということで6年、6.4年という実証があるわけですから、6.4年間は最低でもあるかと思っております。

これは推定でございますけれども、ワクチンによっては20年も効果があるという推測はされている。それで、これは承認されてまだ時間が余りありませんので、効果がどこまで続くという、それがわからないというところが事実かと思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 実際、去年ですかね、承認された部分で、まだそこら辺の、では、内容的にも不透明な部分がまだ多いということですね。

ただ、保護者あたりもなかなかそこら辺の周知がしていない、現状がわかっていない、私自身も、今回質問するに当たっていろいろ調べたんですけども、確かに、ネットあたりで調べてもなかなか不十分、不透明なところも見られる部分はありますけれども、もしこれが有効なワクチンだとわかった場合は、これは市民からの声も多いということは事実ですので、ぜひ、そういった安全性とか効果が、これが見受けられたときは、ぜひ自治体としても、我が市としても、大事な子どもを産んでいただく女性ですから、ぜひ市として守っていただきたいという部分はあります。

では、次に移ります。大分時間が、早く終わりそうですけれども、最後ですね。これは、初日に猪塚先輩も指名のことをいろいろ質問して、かなりハッスルされて、私も最後で余りハッスルはしたくないんですけども、質問に移りたいと思っております。

大矢野中学校耐震補強の指名の基準について、お聞きします。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） 特定建設工事共同企業体ということで、指名をさせていただいております。

これは、上天草市建設工事等指名委員会規程第8条別表第2の基準により業者を選定し、指名を行っておりますものと同時に、昨年7月17日付で告示しております上天草市特定建設工事共同企業体運用基準に基づいて指名をさせていただいております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

- 10番（川口 望君） これは何で、JVですかね、こういった方式をとられたんでしょうか。
- 議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。
- 総務企画部長（永森 良一君） 御存じのとおり、耐震補強の最初の工事でもございました。それで、より高度の技術を要するのではないかということで、運用基準にもございますけれども、共同体を組ませていただいております。
- 議長（堀江 隆臣君） 川口君。
- 10番（川口 望君） これは、高度な技術を持っている業者で選定したんですか。
- 議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。
- 総務企画部長（永森 良一君） 高度な技術を求められるということで、私どもとしてはそれに該当する業者を指名させていただいたと確信しております。
- 議長（堀江 隆臣君） 川口君。
- 10番（川口 望君） これ、予定価格は9,312万円ということで出ていますよね。基本的には、こういった高額な工事の場合は、特別建設業許可を持っている業者を優先的に指名に入れなくてはならないのではないのでしょうか。どうでしょうか。
- 議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。
- 総務企画部長（永森 良一君） 今回の指名は10社いたしまして、特定建設業、一般建設業の組み合わせでございました。
- 議長（堀江 隆臣君） 川口君。
- 10番（川口 望君） これは市のランクでしているのでしょうか、県のランクで指名をしているのでしょうか。
- 議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。
- 総務企画部長（永森 良一君） 市のランクでいたしました。
- 議長（堀江 隆臣君） 川口君。
- 10番（川口 望君） 何で、市のランクでしたのでしょうか。
- 議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。
- 総務企画部長（永森 良一君） 土木、建築、それぞれABCというランクがございますので、そのランクを適用いたしました。
- 議長（堀江 隆臣君） 川口君。
- 10番（川口 望君） 多分、こういったことをずっと話をしても進まないと思います。ちなみに、落札業者というのはBからAに、すぐ上がっているんですよ、市のランクで。そういった部分を踏まえれば、私もやはり言われるわけですよ、おかしいというのは。言っている私がおかしいのでしょうか。
- 議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。
- 総務企画部長（永森 良一君） 先ほど言いました、昨年7月に告示しております運用基準の

第4条の組み合わせで、指名をいたしました。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） では、私がおかしいということですね。正直、第何条の云々と言われても、今手元にありますけれども、見てもわかりません。

この件に関しては、私も非常に言われます。指名が出る前から、業者さんの落とす、落とすというのも私も聞いておりましたし、そういったうわさと、そういった指名と、ランクはBから上がった状況で、結果が伴った場合は、やはり指名が何かおかしいとしか言われないんですよね。これが例えば、県の基準でいっておけば、猪塚先輩もその説明はしておりましたけれども、県の基準でいっておけば何も問題はなかったと私は思うんですよ。

それで、実際に下請けの金額は、今幾らぐらいになっている状況でしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） ただいま現在で3,500万円程度だと、報告を受けております。

ちなみに一般建設業者ですので、4,500万円を超えてはならないという部分がございます。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） それは建設課からの指導があったのではないですか、4,500万円以下に落とすというふうな。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） お答えします。

今の下請けの上限でございますけれども、特定建設業の免許を持たない業者におかれましては、土木で3,000万円以上、建築で4,500万円以上、下請けは出してはならないように定めてあります。私たち執行部としましても、その点業者に指導をしているところでございます。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 指名で特定、特別建設業許可を持っているので合わせていけば、そういった建設部あたりからの指導も要らないはずだと思うんですよ。そこら辺をきちんと合わせていけば。どうもそこら辺が、私は納得がいかないわけですよ。

もうこれは入札も終わって、今から何を言っても多分一緒だと思いますけれども、今まで部長、この指名については、一般質問でかなり言われていると思います。何か対策はとりましたか。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） 去年のことですけれども、下水道工事で1件だけ総合評価方式を採用しまして、入札を行っております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 今後は、予定としては、金額的には幾ら以上、その総合評価方式を取り入れる予定ですか。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） 具体的にはまだ、金額の設定はしておりませんが、こ

の総合評価方式のねらいは何かと言いますと、工事数が非常に少なくなってきた価格競争が起き、著しく低い価格で落札が行われるというような部分で、品質の低下であったりということが懸念されております。そういうことを防ぐために、この総合評価方式を採用しておりますので、できれば年間に1、2件、今後も総合評価方式での入札ができればと考えております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） そこら辺の基準はある程度、まあ耐震あたりは確かに難しいかもしれないですけども一般の、そういった公共事業の発注の場合は、ある程度の額を基準として定めるべきではないのでしょうか。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） そこらあたりは今後の検討材料になるかと思いますが、できれば、先ほども言いましたように、こういう方式については可能な限り採用したいと思います。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） いや、可能な限りではなくて、さっき言ったとおり、こういったことは早くすべきだと思うんですよ。そして、できるだけそこら辺の線引きを決めておけば、私だって、こういうことは余り言いたくないんですよ。これから先につなげるためにも、ちょっと行動が遅いのではないですか。何回も何回も入札に関して質問が出ていること自体が、部長、恥とと思ってくださいよ。だったらなおさら、いち早く手を打って、やはりしないとイケないじゃないですか。

きのう、話をしましたよね。一般競争入札の導入あたりも、きのう終わって話をしたじゃないですか。なぜ、今部長がいる時点でやらないんですか。もう、来年は定年ですよ。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） 定年と言われますとどきっとするんですが、これは何も、私自身がこういう問題から逃げているわけではございません。ただ、非常にデリケートな問題であることは議員も御存じかと思えます。そのために、私ども非常に神経を使いながらこの業務をこなしているわけですが。

いつとは申し上げられませんが、今の指名方式と同時に、先ほどから出ております総合評価方式あたりについても、今後その時期等も検討しなければいけないだろうとは思っておりますが、いざ、すぐ一般競争入札、あるいは条件つき一般競争入札という部分については、市内の業者等の体力等も考えますと、まだ検討すべき段階ではないかと思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） 確かに、一般競争入札の導入というのは、確かに慎重にしなければいけないという部分は感じます。

でも、この総合評価方式あたりはすぐにでも導入できるのではないのでしょうか。なぜやらないんですか。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○**総務企画部長（永森 良一君）** 決して、その総合評価方式をやらないということではなくて、先ほども言いましたように、今年度の事業についても総合評価方式を取り入れられる事業があればということで、指名委員会の中でも検討をしている段階でございます。

○**議長（堀江 隆臣君）** 川口君。

○**10番（川口 望君）** うちの会派でも、去年おとしからこの件はずっと、入札に関しては質問しておりましたけれども、総務企画部長は、議事録は読み返されますでしょうか。

○**議長（堀江 隆臣君）** 総務企画部長。

○**総務企画部長（永森 良一君）** 私が総務部長に就任して以来、あるいはその前の議事録については、議会のたびに読み返しております。

○**議長（堀江 隆臣君）** 川口君。

○**10番（川口 望君）** 私たちが質問したときは、まだ川本総務部長だったんですよ。そのときから前向きに、前向きにと、ずっと前向きに、前向きにともう何年かたったんですよ。いつ、どこで始めていただくかということですよ。それがスピーディーな対応ではないんでしょうか。

私たち議員の要望に対してアクションを起こす、これは予算を伴うものなんじゃないですかね。それを、民業を圧迫せずにやる方法をいち早く考えるのが市の仕事ではないんでしょうか。例えば条件つき一般競争入札にしても、まずこの総合評価方式も、まだ1件しかしていないということですね。これも安全性とか、環境への影響を評価しながらする方式ですけども、やはりこれだけの質問が出ているわけですから、何らかの形をとっていかないと、また言わないといけないんですよ。猪塚先輩も、また言われるかもしれません。私が言いたいのは、もうそれだけです。

ですから、この件に関しては答弁あたりもはっきりしないし、その上で、こういった指名のあり方が浮き彫りになってきたら不審に思うわけですよ。指名委員長でしょう、上天草市内の業者の能力ぐらい把握した上で、こういった指名というのは均等に、平等にしてほしいというのが私たちの願いですよ。特に耐震あたりは、やはりこれは子ども、先生たちの命を守る、非常に大事な工事ですよ。

○**議長（堀江 隆臣君）** 総務企画部長。

○**総務企画部長（永森 良一君）** 当然、指名委員会の委員長ですので、今御指摘の把握等については私なりに勉強させていただいておりますし、また私なりの調査方法で、十分ではないかもしれませんが、一定レベルの知識は持っている、私自身は思っております。

○**議長（堀江 隆臣君）** 川口君。

○**10番（川口 望君）** では、ちょっと知識不足なのではないですかね。

建設部としても、今後こういった部分、不透明な部分の、私たちにとっては不思議な指名ですね、こういった部分についてはどう思いますか。今回の、この中学校補強の、耐震の指名については。

いや、部長に聞いているんですよ、今度新任された部長に。

○議長（堀江 隆臣君） 建設部長。

○建設部長（尾上 徳廣君） 大矢野中学校の耐震の指名でございますけれども、一応親、子、指名したわけですが、上天草市のAランクに入っている以上は適切と、私は思っております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） でも、Bも入っているではないですか。Aの業者はまだありますよ。

○議長（堀江 隆臣君） 総務企画部長。

○総務企画部長（永森 良一君） 今回、先ほど言いました運用基準第4条を適用して組み合わせたわけですが、御指摘のようにBも入っております。これは、この運用基準で可能なわけです。

先ほどからおっしゃっております、ちまたでどういううわさが出ているのかわかりませんが、私どもは私どもなりの基準判断で指名をさせていただいていると確信しております。

○議長（堀江 隆臣君） 川口君。

○10番（川口 望君） では、今後もその判断でいくわけですね。私たち議員としては、その判断基準が欲しいわけですよ。市民に説明する上で、その判断基準をつけてくださいというのが、私たちの願いなんです。ですから、例えば県なら県のランクで指名したらいいじゃないですか、それで。その基準をつけてください、早く。

終わります。

○議長（堀江 隆臣君） 以上で、10番、川口望君の一般質問が終わりました。

以上をもって、本日の議事日程は終了いたしました。

あす23日は経済建設常任委員会、24日は総務常任委員会、25日は文教厚生常任委員会を開催しますので、関係委員会への出席をお願いいたします。

本日はこれにて散会いたします。

散会 午後 1時41分